

令和8年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 119

千葉県立市原緑高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のいずれかに該当する生徒

ア 基本的な生活習慣が確立しており、目標に向けて努力することができる生徒

イ コミュニケーションをはかる力を身につけようとする生徒

ウ 特別活動及び部活動において、顕著な実績又は優れた能力を持ち、入学後も活動を継続でき、高校生活に意欲的に取り組める生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名7分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔290点満点〕

アの数値に、イについて加点（上限20点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 特別活動の記録 部活動等の記録 特記事項	以下の項目について、審査して加点（上限20点）する。 ・生徒会本部役員、委員会委員長、学級委員長等の実績 ・部活動に3年間所属 ・部活動部長の実績 ・部活動において、県大会出場以上またはそれに類する実績 ・漢字検定、数学検定、英語検定において3級以上を有する者

(3) 学校設定検査〔100点満点〕

面接

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを1点とし、2名の評価者の評価（各50点満点）を合計し、得点化する。評価cが5つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望の動機が具体的かつ明確であり、意欲が感じられる。
イ 応答の明確さ	質問に対して明確に応じ、適切に答えられている。
ウ 言葉遣い	言葉遣いが丁寧で明瞭な応答ができています。
エ 礼法・態度	礼法や態度等、面接の基本的作法が身に付いている。
オ 服装・頭髪	服装・頭髪に加工や乱れがなく、清潔感がある。

4 選抜方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定（K=2）	加点	面接	
500点	270点	20点	100点	890点